

2012年 研究演奏『ふるさと大田 今昔物語』ナレーション原稿（原案・洲浜）

大田市立大田小学校体育館

	時間	学校・演目	ナレーション(AB)※(本番まで必要に応じて加筆・削除・修正すること)	備考(入退場・舞台・音響・照明など)
1	13:10	演奏 北三瓶っ子太鼓クラブ 「今 ふるさとを想う」 (22名)	ー 太 鼓 演 奏 ー ----- (演奏が終わって司会者登場) A みなさん、こんにちは。和太鼓の力強い響きでオープニングングを飾っていただきました。演奏は「北三瓶太鼓っ子クラブ」のみなさんでした。もう一度大きな拍手をお送りください。(奏者、礼をして上手へ退場) 第30回島根県音楽教育研究大会、午後の部では最初に、『ふるさと大田 今昔物語』と題して、私たちの日頃の練習の成果を発表します。私は進行を担当します大田一中の〇〇〇〇です。 B 同じく大田一中の〇〇〇〇です。 A・B よろしく願います。(拍手) B 大田市には「山村留学センター」があります。今年度は全国の各地から来られた22名のみなさんが、ここで集団生活をしながら北三瓶小学校・中学校へ通っています。ただいま演奏しました「三瓶っ子太鼓クラブ」は山村留学生と地元の有志で構成され、週2回、全国各地に伝わる踊りや太鼓などの練習しています。 先程の演奏は三宅島に伝わる太鼓で、「木遣り太鼓」ともいわれ、夏祭りで神様を乗せた御神輿おみこしが練り歩く時にたたかれるものです。大地から湧き上がるような太鼓の響きとともに、演奏されるみなさんの心の動きも伝わってくる演奏でした。	・13時10分には演奏が開始できるようにスタンバイし、合図で演奏を開始。 ・演奏が終わると司会者登場。 ・拍手を受け、礼をすると静かに下手へ退場する。 ・太鼓クラブの退場と併行して、池田小(24名)は静かに下手から舞台へ上がり位置につき、スタンバイする。 ※^{かみて}上手・客席から舞台に向かって右側 ※^{しもて}下手・ // 左側 ※体育館の特設舞台なのでで緞帳もなく照明も不十分なので、そのつもりで。

2		大田市立池田小学校 「田植え囃子」	A 「次は池田小学校のみなさんの田^{ばやし}植え囃子です。 田植え囃子は、田の神様に稲の^{すこ}健やかな成長を祈って行われました。大田市には4つの田植えに関する芸能が伝承されています。一つは400年以上前、邑智郡の丸山城の新築祝いのとき奉納された小笠原流田植え囃子で、大代地区で今も行われています。水上地区には花田植えがあります。三瓶町には小屋原地区と池田地区に田植え囃子が残っています。 日本の農民の心と地域の伝統を受け継いだこの芸能は、社会の変化とともに衰退したり途^{とだえ}絶えかけたこともありましたが、しかし現在は地域の人たちの指導を受けて小学生や中学生も習い、学校の文化祭や地区の行事で披露しています。今後も古くから地域に伝わる貴重な伝統を受け継ぎ、次の人たちへバトンタッチしていきたいです。 B これから池田小学校には、三瓶町池田地区に伝わる田植え囃子から2曲演奏していただきます。一つは唄をうたいながら囃^{はや}す「八調子」、もう一曲は神社を舞いながら出て行くときの「下がり葉」です。そして最後は群馬県の民謡・「八木節」の演奏です。 どうぞ力強い太鼓の響きと、古くからの日本の楽器、篠^{しのぶえ}笛の演奏をお楽しみください。 — 田植え囃子の演奏 — B 池田小学校のみなさん、ありがとうございました。	・拍手が終わると下手から静に退場。 ・ナレーションの間に静かに舞台へ上が り位置へ着く。 ・ナレーションが終わり、1, 2, 3、4, 5でスタート出来れば最高。5がスタート。 ・司会者の拍手で会場も拍手。演奏者は礼をして上手へ退場。 ・併行して次の発表、仁摩小・中学校生が下手から静かに配置につく。
---	--	------------------------------	--	---

3	15 ～ 20	仁万小学校（32名） 仁万中学校（42名） 朗読と音楽「琴の鳴る浜」	A 次は仁万小学校と仁万中学校のみなさんによる、朗読と音楽『琴の鳴る浜』です。これは平成22年に大田市民会館で初演された1時間30分の音楽劇を20分の朗読と合唱用に短縮していただいたものです。脚本と作詞は洲浜昌三さん、作曲は長坂行博さん。二人とも大田で演劇や音楽活動をされている方です。 B 大田市仁摩町馬路には「琴が浜」という美しい砂浜の海岸があります。その上を歩けば音が出るので「鳴り砂」としても有名です。ここには、壇ノ浦の戦いで敗れた平家の姫が琴を抱いて流れ着いたという800年前のことが今も語り継がれ、馬路の人たちの手によって美しい砂浜が守られています。 A 仁摩小学校では「石見銀山の歴史」や「鳴り砂」、「琴姫伝説」なども社会科や総合的な学習で学んでいます。中学生になってもその知識を深める機会があります。 この「琴の鳴る浜」の朗読と合唱活動を通じて、ふるさとに伝わる美しい伝説をさらに深く学び、それを「歌」や「語り」「朗読」など舞台芸術として発表出来る喜びや、小学生、中学生が一緒になって練習するなかで、お互いの良さを知り、一つの舞台を創っていく楽しさや喜びを体験したそうです。 では、朗読と合唱「琴の鳴る浜」をお楽しみください。 — 仁摩小・中学校の発表 — 上演 （仁摩小、中学校の発表が終わって） A 仁摩小学校、仁摩中学校のみなさん、ありがとうございました。 すばらしい発表に、もう一度大きな拍手を送りたいと思います。 ありがとうございました。	・ナレーション終了後、1, 2, 3, 4, 5でスタートしたい。 ・仁摩小中の生徒は静かに上手へ退場。 ・一中吹奏楽部、配置につく。 3分以内でできないか。
---	---------	--	---	---

4		大田一中吹奏楽部 「トゥランドット」	B つづいて大田第一中学校の吹奏楽部の演奏をお送りします。 島根県は中学校や高校の吹奏楽部や合唱部などが全国でもトップレベルの活躍をつづけ、音楽のレベルが高い県として評価されています。これは経験豊かな先輩方が切り開かれた伝統を受け継ぎ、さらに高い志を持って活動をつづけてこられた先生方の指導と部員たちの努力、地域の支援が実をむすんだものといえるでしょう。 A 大田一中吹奏楽部は平成18年に全日本吹奏楽コンクール中国大会へ9年ぶりに出場し銀賞を受賞しました。この時が3回目の中国大会出場でしたが、その後、6年つづけて中国大会へ出て金賞を受賞しました。平成21年からは3年連続して全国大会へ進み、5000人収容できる憧れの東京・普門館で演奏し、金賞を受賞するなど高い評価を受けました。 B 残念ながら今回は時間が限られていて、ここで演奏を披露できませんが、大田第三中学校吹奏楽部の活躍にも素晴らしいものがあります。今年も全日本吹奏楽コンクール小編成の部で中国大会へ出場し、満点の成績で金賞を受賞しました。6年連続9回目の出場になります。学校の生徒数が少なくいつも10人前後の編成ですが、次々と楽器を持ち代えての素晴らしい演奏には多くの人が感動します。 A 二つの学校の例を紹介しましたが、これらの吹奏楽部はただ校内で活動するだけでなく、施設を訪ねて演奏したり、さまざまな地域の行事やイベントに参加しています。地域に支えられ、地域の人たちに音楽でお返しをしながら、その活動が地域の文化向上に貢献しているという誇りや喜びがあります。	

		演奏	B では大田一中の演奏を紹介します。曲目はプッチーニ作曲「トゥランドット」からのセレクションです。フィギュアスケートの荒川選手がトリノ・オリンピックで金メダルを獲得したときの曲も一部はっています。どうぞお楽しみください。 ー 大田一中吹奏楽演奏 ー (演奏、拍手が終わって) B すばらしい演奏をありがとうございました。	
5		大田一中吹奏楽部 大田一中合唱隊（144） 「大地讃頌」	では最後の演奏です。大田一中3年生144名が加わり、ブラスバンドの演奏に合わせて「大地讃歌」を合唱します。 A 大田一中では毎年、秋の文化祭で合唱コンクールを行っています。ほとんど私たち生徒が自主的に行う活動です。放課後の限られた時間で練習をしなければいけません。10月の1ヶ月間は校内のあちこちから歌声が聞こえてきます。年々そのレベルは向上しているといわれています。 また卒業式は音楽に包まれます。全員で「仰げば尊し」を歌い、混声四部合唱で「大地讃歌」を歌います。卒業生も美しい合唱を披露し巣立っていきます。 B 「大地讃歌」は混声合唱のためのカンタータ・「土の歌」の第7楽章です。 大地の恵みに感謝し、大地の平和を祈る、壮大で力強い歌です。この大田で海や山の恵みを受けて生きる私たちにふさわしい歌です。大地への感謝、愛着、畏敬。そこに生きる喜び、希望、勇氣。いま再び生き方が問われるなかで、じっくり歌の心^{いけい}を噛みしめながら聞きたいと思います。 では、大田一中素奏楽部のみなさん、3年生のみなさん、よろしくお願いします。会	・ 一中3年生(144名)下手から登壇し位置につく。

			場の皆さまも、どうぞ合唱にご参加ください。 ー ブラスバンド演奏・一中3年生合唱 ー （演奏・合唱が終わって） A 大田一中吹奏楽部のみなさん、三年生のみなさん、そして会場のみなさん、 ありがとうございました。	・演奏者、合唱隊は舞台にそのまま。
6		終わりのあいさつ	1時間という限られた時間で、「銀のまち 今昔物語」というテーマのもとに、ふるさとの歴史、ふるさとの今、ふるさとの未来へ寄せる私たちの思いを、 演奏や歌、語り、朗読、合唱でお届けしてきました。 AB 私たちの思いは少しでも届いたでしょうか。（拍手がある予定） ありがとうございます。 A 司会と進行も AB 二人で一生懸命つとめさせていただきました。 AB ご協力ありがとうございました。	・演奏者・合唱隊も礼をする。